

▶▶▶ ライブ授業

1

(1)

解答 (I came to this park) to play (baseball)

解説 「～しに(場所)へ来る」は副詞的用法の〈to + 動詞の原形〉を使って〈come to + (場所) + to + 動詞の原形〉で表すので、空欄には「～しに」という目的を表す to play が入る。

(2)

解答 (Do you have) time to call (Ken?)

解説 日本文の「電話をする時間」に注目する。「～する時間」は形容詞的用法の〈to + 動詞の原形〉を使って〈time to + 動詞の原形〉で表す。「電話をする」は call で表すので、空欄には time to call が入る。

2

(1) (ア)

解答 I want to drink something (.) / I want something to drink (.)

解説 日本文の「飲みたい」に注目する。「～したい」は〈want to + 動詞の原形〉で表すので、I want to のあとに「飲む」を表す動詞 drink, そのあとに、目的語として「何か」を表す something を置いて完成。また、日本文を「何か飲み物が欲しい」と考え、「何か～するもの」を表す〈something to + 動詞の原形〉を使って I want something to drink(.)とすることもできる。

(イ)

解答 (Shota) gets up early to practice soccer (every morning.)

解説 まず、「ショウタは早起します」という部分を組み立て、そのあとに、「サッカーの練習をするために」という目的を加える。副詞的用法の〈to + 動詞の原形〉を使って表せばよいので、(Shota) gets up early のあとに to practice soccer を置き、every morning につなげる。

3

(1)

解答 You started[began] to play tennis (before I was born.)

解説 「テニスを始めました」は「テニスをすることを始めました」と考える。「始める」は start または begin で表す。「～すること」は名詞的用法の〈to + 動詞の原形〉で表すので、過去形 started [began]のあ

とに to play tennis と続ける。また、「～すること」は動名詞でも表すことができるので started [began] playing tennis としてもよい。

(2)①

解答 (例) He plays tennis well (彼はじょうずにテニスをします) / He is good at tennis. (彼はテニスが得意です) / He is a good tennis player. (彼はじょうずなテニスの選手です)

解説 得意なスポーツがテニスであることを紹介する文を作成する。「～が得意である」は play ~ well「～をじょうずにする」、または be good at ~「～が得意だ」で表すことができる。「彼はじょうずなテニスの選手です」という文にしてもよい。

(2)②

解答 (例) His favorite subject is science. (彼の好きな教科は理科です) / He likes science classes. (彼は理科の授業が好きです)

解説 好きな教科が理科であることを紹介する文を作成する。「彼の好きな教科は理科です」という文で表す。「彼の好きな教科」は his favorite subject, 「理科」は science で表す。「彼は理科の授業が好きです」という文にしてもよい。

(2)③

解答 (例) His dream is to become[be] a doctor. (彼の夢は医者になることです) / He wants to be[become] a doctor. (彼は医者になりたいと思っています)

解説 夢が医者になることであることを紹介する文を作成する。「彼の夢は～することだ」という文で表す。または「～したい」〈want to + 動詞の原形〉を用いて「彼は医者になりたい」という文にしてもよい。「～になる」を表す動詞は become または be。